

2021年1月12日

株式会社ケアコム
ビー・ビー・バックボーン株式会社
扶桑電通株式会社

サービス付き高齢者向け住宅を対象とした PBX と LTE 回線による「ナースコール連携サービス」の提供開始について

株式会社ケアコム（本社：東京都調布市、代表取締役社長 池川充洋、以下「ケアコム」）とソフトバンク株式会社の子会社であるビー・ビー・バックボーン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 戸坂豪臣、以下「BB バックボーン」）、および扶桑電通株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 有富 英治、以下「扶桑電通」）は、サービス付き高齢者向け住宅を対象に PBX（構内交換機）と LTE 回線を利用した「ナースコール連携サービス」を、本日から提供します。

「ナースコール連携サービス」は、ケアコムの高機能ナースコール情報通信システム「CICSS（シックス）」と、扶桑電通の提供する PBX および BB バックボーンの LTE 回線を連携させた、サービス付き高齢者向け住宅用のソリューションシステムです。

「ナースコール連携サービス」は、「CICSS」とスマートフォンが連動し、入居者からの呼び出しを病院のナースコールのように施設職員のスマートフォンを使って応答できるだけでなく、職員同士の内線通話としても利用可能です。また、音声通話のみならず、映像・画像伝送などのデータ通信も可能になることで、業務での活用の幅が広がり、医療・介護業界における人手不足や業務負担の増加といった課題解決につながるサービスです。

医療・介護業界では、2021年1月に公衆 PHS 音声サービスが終了することに伴い、入居者からの呼び出しを PHS で応答するシステムの後継となるサービスの選定が課題となっています。また、これまでナースコールの応答や内線通話にスマートフォンを使うには、音声通話品質を考慮した無線 LAN 環境を施設内に構築する必要があり、導入コストとアクセスポイントの配置、チャンネル設計が施設の大きな負担となっていました。そのような課題に対して、「ナースコール連携サービス」は無線 LAN のアクセスポイントを必要としない LTE 回線を利用したスマートフォンによるナースコール連携を実現しました。

ただし、構内における携帯通信エリアは携帯会社の通信ネットワークに依存しており、建物の形状等によって不感地帯が生じる恐れがあります。そのため、オプションサービスとして、構内に sXGP^{※1} 対応のアクセスポイント等を設置することで、携帯通信の不感地帯においても自営 LTE 環境構築と柔軟なエリア設計を可能にします。

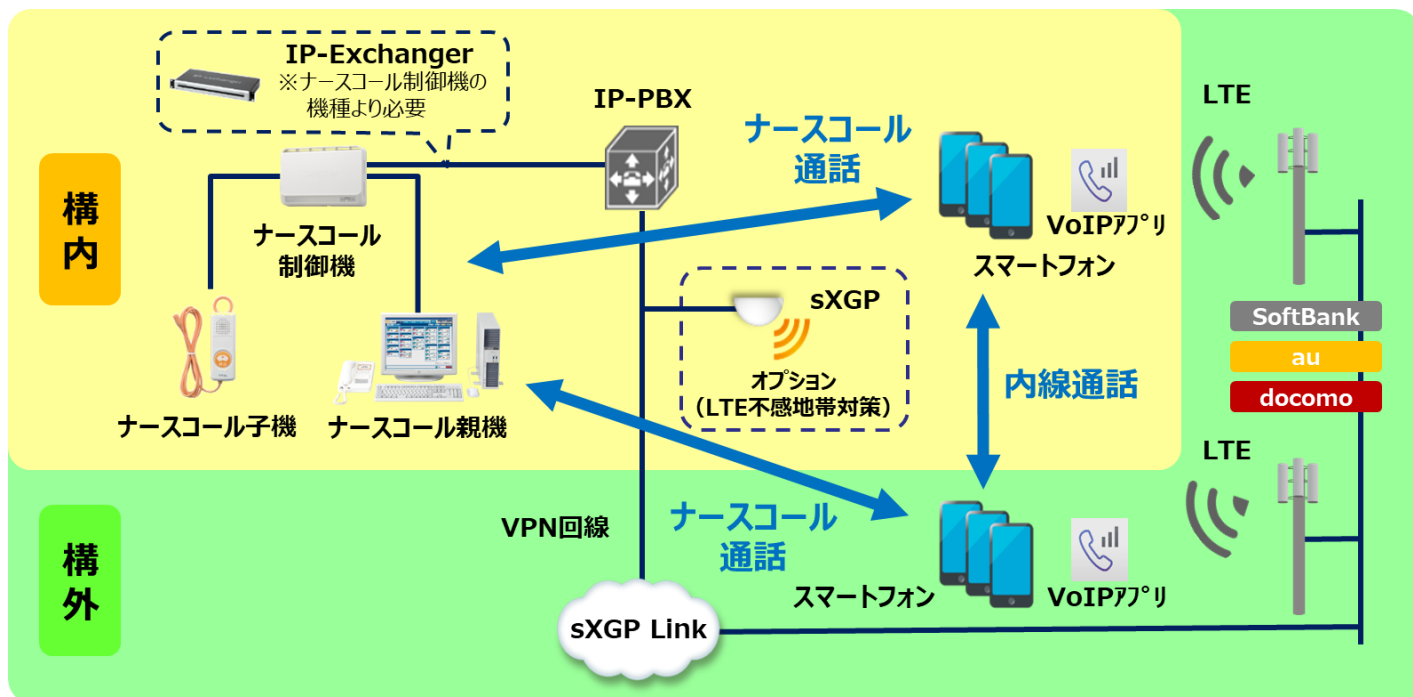
注 1) sXGP (shared eXtended Global Platform)：従来 PHS が利用していた 1.9GHz の周波数帯に、携帯電話で豊富な実績を持つ TD-LTE 方式を採用した、自営無線方式の簡便さと LTE 方式の汎用性を併せ持つ新技術である。アンライセンスバンド（免許不要の周波数帯）であるため、LTE 無線基地局を自ら設置することで、手軽に自営 LTE の環境を構築できる。

「ナースコール連携サービス」の概要

1. 構成

LTE回線を利用したスマートフォンに専用アプリケーションを搭載することで、ナースコールの受信を可能にします。そのため、構内にはナースコール制御機、PBXおよび職員用のスマートフォンが必要になります。また、インターネット接続は別途オプションで利用可能になります。

2. 提供イメージ



高機能ナースコールシステム「CICSS（シックス）」について

情報・通信のプラットフォームであるCICSS（シックス）は施設内の各種システムをつなぐソリューションです。ナースコール、見守りシステムのアラートをスマートフォンおよび介護記録ソフトにシームレスで連動。スタッフの動線短縮や記録作業の軽減などスタッフの働きやすさをサポートします。また居室やトイレでの異変に対する早期対応やプライバシーへの配慮などご利用者の安全もサポートします。

サービス付き高齢者向け住宅について

サービス付き高齢者向け住宅とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の一定の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスなどのソフト面も提供することにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整え、都道府県、政令市、中核市の登録を受けた住宅のことです。登録制度は国土交通省・厚生労働省が所管する「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の改正（2011年）によりスタートし、登録される住宅は、整備費用の一部補助や税金の軽減措置などが適用されます。

[注] 上記は「[サービス付き高齢者向け住宅登録情報提供システム](#)」ホームページを参照しました。

各社の概要

■ケアコムについて

社名：株式会社ケアコム (<https://www.carecom.jp/>) 代表者：代表取締役社長 池川充洋

本社：〒182-0025 東京都調布市多摩川 3-35-4 資本金：9,000 万円

設立：1955 年 9 月 従業員：260 名

ケアコムは医療・福祉施設向けの情報・通信システムの専門メーカーとして、ナースコールシステムや業務支援システムを製造・販売しています。現在、全国の独立行政法人国立病院機構病院、国立大学法人大学病院、日赤病院の何れにおいても約 8 割の施設にて、弊社のシステムをご採用いただいています。

■BB バックボーンについて

社名：ビー・ビー・バックボーン株式会社 (<https://www.bbbackbone.co.jp/>) 代表者：代表取締役社長 戸坂豪臣

本社：〒105-7304 東京都港区東新橋 1-9-2 汐留住友ビル 27 階

設立：2002 年 2 月

BB バックボーンはソフトバンク株式会社の子会社として設立。光ファイバー事業および sXGP (shared eXtended Global Platform) 事業により、お客様の利便性向上につながる通信ソリューションをご提供しています。

■扶桑電通について

社名：扶桑電通株式会社 (<https://www.fusodentsu.co.jp/>) 代表者：代表取締役社長 有富英治

本社：〒104-0045 東京都中央区築地 5-4-18

設立：1948 年 3 月

扶桑電通は「ネットワーク」「ソリューション」「ファシリティ」の 3 つの事業を柱として、全国 54 カ所の拠点に要員を配し、お客様の業務についてのコンサルティングからシステムの設計・開発・施工・運用・保守までをワンストップでサービス提供しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ケアコム 地域支援グループ 安藤 Tel.050-3816-6307 Email : sales@carecom.co.jp

※ニュースリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。